

最近の雇用情勢について

(平成31年1月)

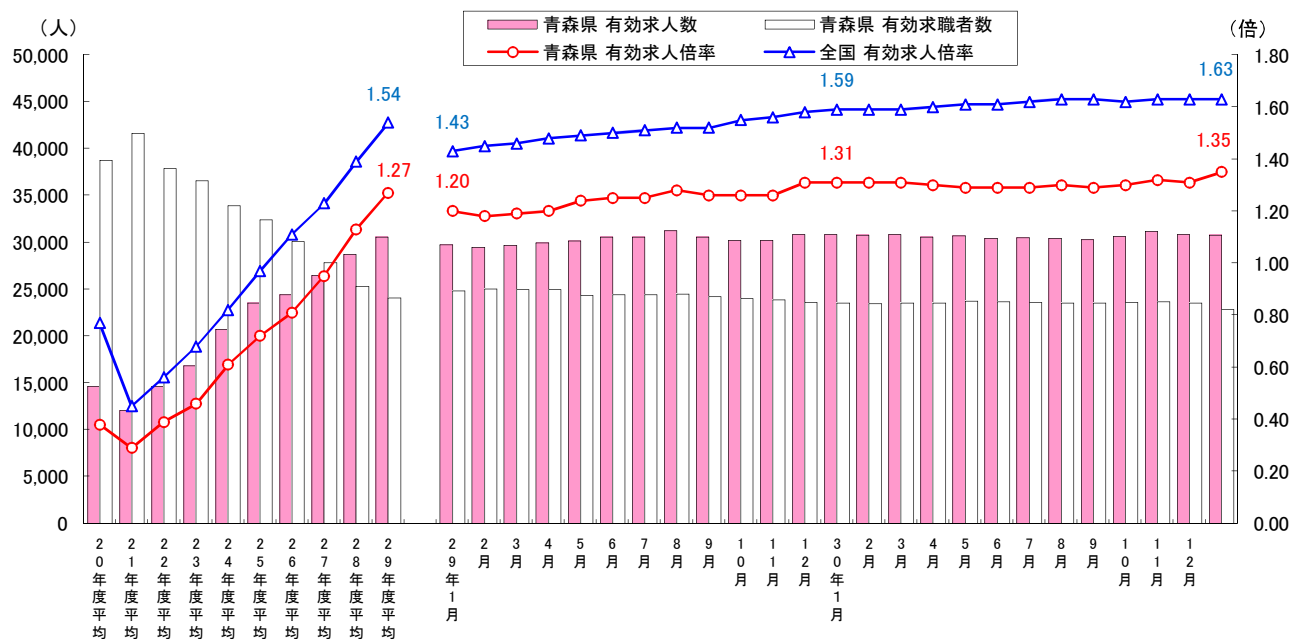
青森労働局

I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

1月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数(季節調整値)は前月に比べ0.2%減少し30,773人、有効求職者数(同)は3.0%減少の22,811人で、有効求人倍率(同)は1.35倍となり、前月に比べ0.04ポイント上回った。

就業地別の有効求人倍率(季節調整値)は1.47倍と前月より0.03ポイント上回り、受理地別の倍率を0.12ポイント上回った。

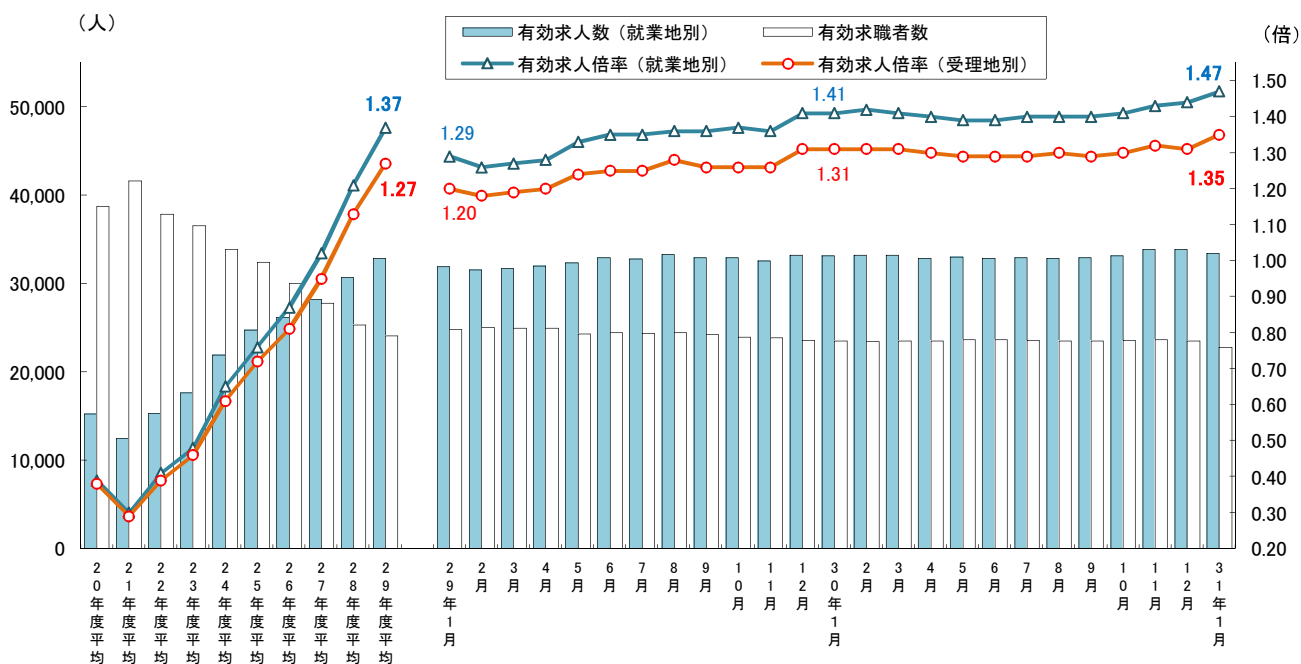
受理地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移 (全数・季節調整値)



全国ハローワークで受理した求人で、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。

季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。

就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

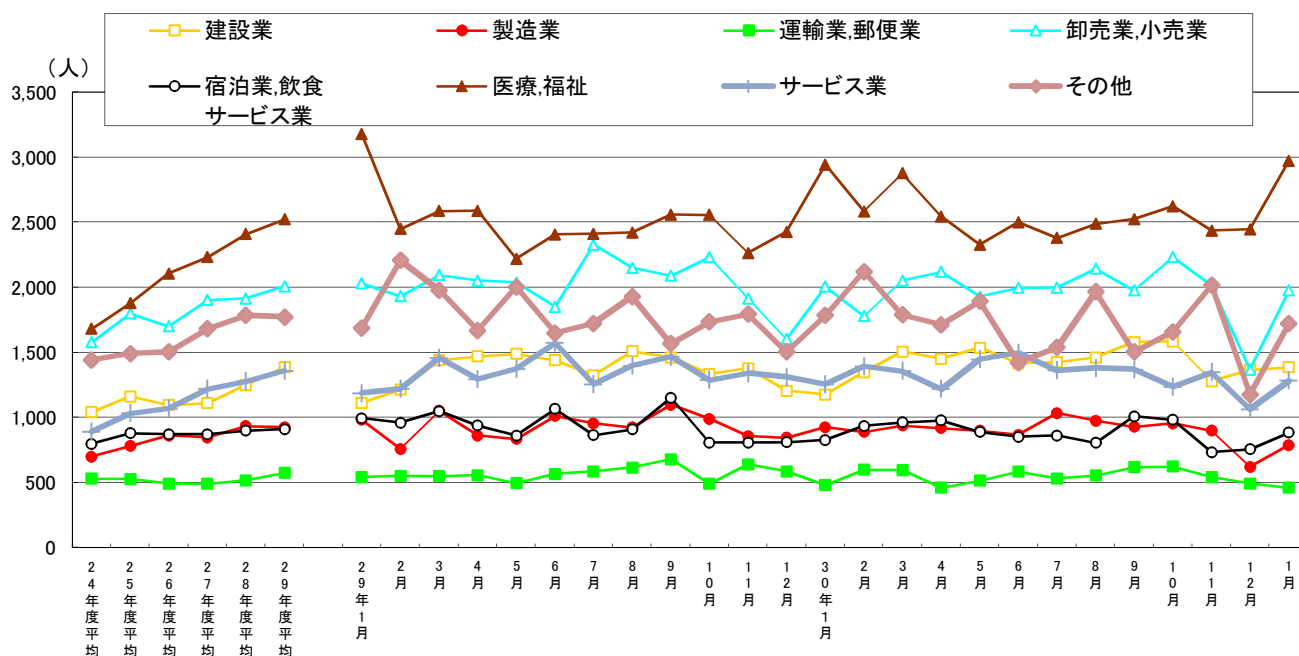
(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成30年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

1月の新規求人数(原数値)は前年同月比0.6%(73人)増加の11,475人。

主な産業別で前年同月と比較すると、建設業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業等で増加し、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、小売業等で減少した。

製造業では、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、パルプ・紙・紙加工品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、情報通信機械器具製造業で増加し、繊維工業、木材・木製品製造業(家具を除く)、家具・装備品製造業、業務用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、輸送用機械器具製造業等で減少した。



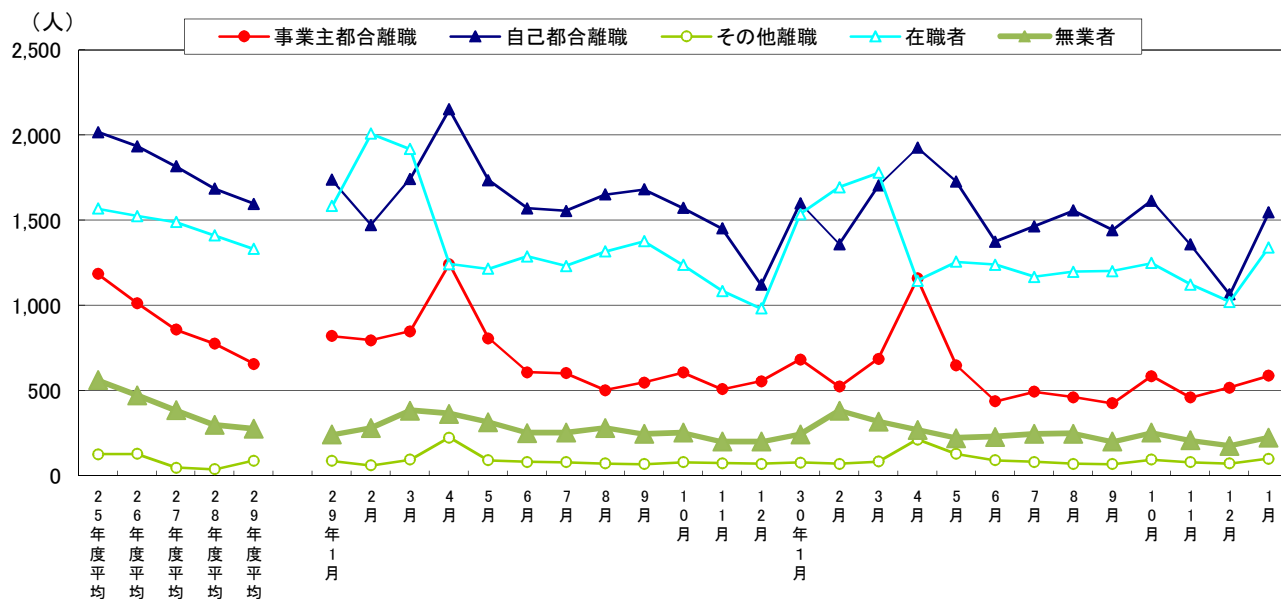
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農林漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業・保険業」「不動産・物品賃貸業」「学術研究・専門・技術サービス業」「生活関連サービス業・娯楽業」「教育・学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

III 新規求職の状況(パートを除く常用)

1月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比8.3%(343人)減少の3,800人。

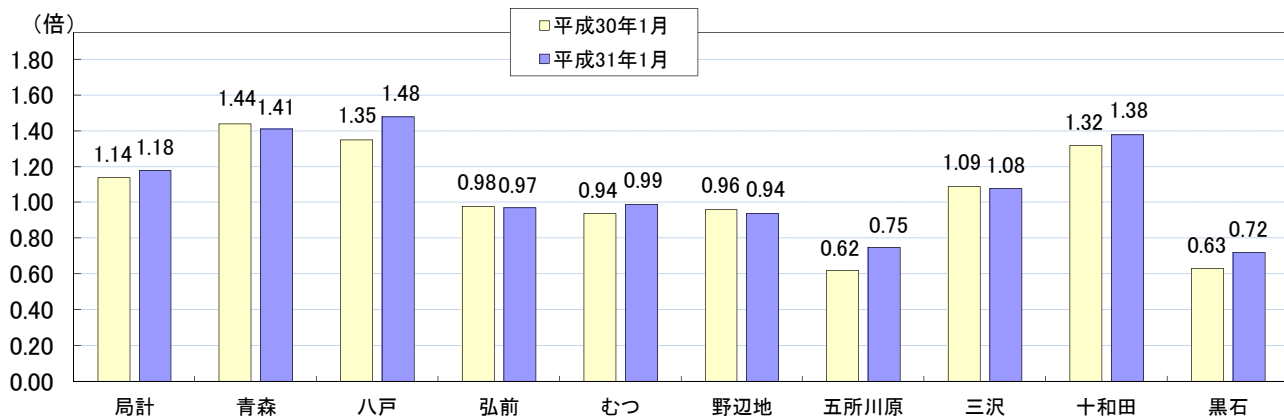
求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は12.8%(196人)減少、無業者は8.2%(20人)減少、離職者は5.4%(127人)減少し2,235人となった。

離職理由でみると、事業主都合は13.9%(95人)、自己都合は3.4%(55人)の減少となった。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

1月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.18倍となり、前年同月より0.04ポイント上昇した。各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



H31.1	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	24,866	6,331	5,312	4,504	1,457	1,077	2,266	1,433	1,137	1,349
有効求人数	29,394	8,907	7,887	4,369	1,438	1,016	1,691	1,548	1,573	965

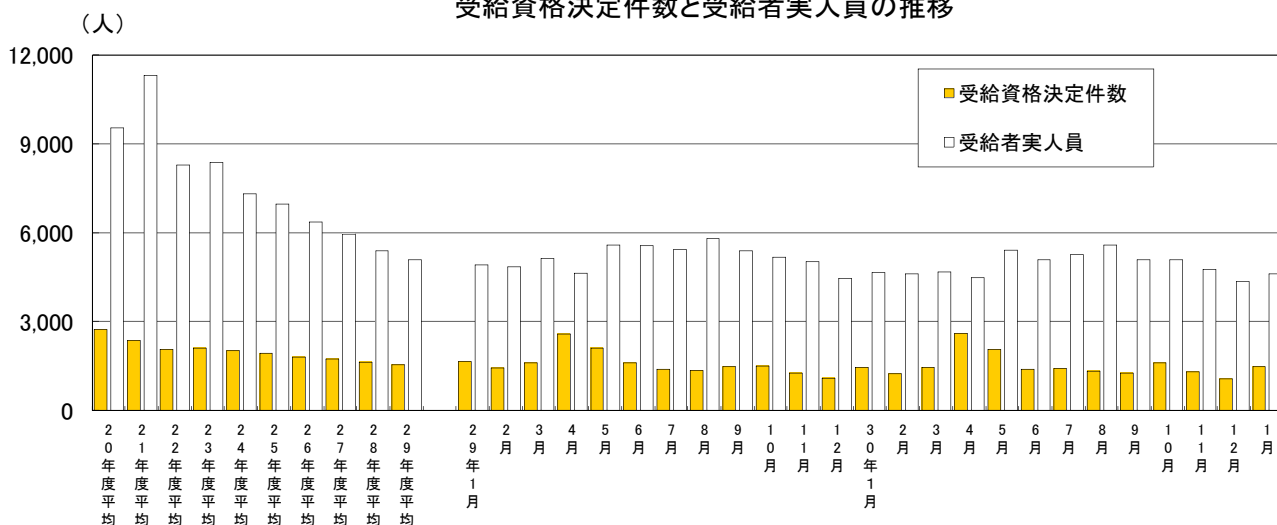
(単位:人)

V 雇用保険の状況

1月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比0.7%(34人)減少、前月比では6.0%(262人)増加の4,622人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比1.3%(19件)、前月よりも39.0%(416件)増加し1,482件となった。

資格喪失者(高年齢、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比17.5%(56人)減少、前月比17.5%(56人)減少し264人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

